

令和7年7月22日

# 交通事故概況

令和7年6月末計上数(確定数)

警察本部交通部交通企画課

# 北海道の交通事故概況（6月末計上数（確定数））

## 1 令和7年6月末の交通事故発生状況

区分\内容	6月中		6月末	
		前年比		前年比
発生件数（件）	569	-31	3,804	-430
死者数（人）	5	-6	49	8
傷者数（人）	637	-47	4,394	-636

[過去10年、6月中6月末の推移]

区分\年別	H27年	H28年	H29年	H30年	R元年	R2年	R3年	R4年	R5年	R6年	過去平均		R7年
											10か年	5か年	
6月中死者数	16	10	17	6	11	10	13	5	10	11	11	10	5
6月末死者数	76	62	58	62	53	54	52	43	43	41	54	47	49
年間死者数	177	158	148	141	152	144	120	115	131	104	139	123	

都道府県別（6月中）

順位	1	2	3			12
都道府県名	東京	千葉	大阪	兵庫	新潟	北海道
死者数	14	10	8			5

都道府県別（6月末）

順位	1	2	3	4	5	7
都道府県名	東京	神奈川	大阪	千葉	埼玉	北海道
死者数	68	63	58	57	56	49

## 2 交通死亡事故の発生状況（主なもの）

### (1) 6月中の死亡事故（死者5人）

- 事故類型別：車両単独が4人(80.0%)
- 道路別：国道が2人(40.0%)
- 地形・道路形状別：市街地直線が3人(60.0%)
- 発生時間別：10～12時が3人(60.0%)
- 第一当事者年齢別（第一当事者原付以上）：高齢運転者による死者が2人(40.0%)
- 第一当事者違反別（第一当事者原付以上）：操作不適が3人(60.0%)
- 死者年齢別：高齢者の死者が2人(40.0%)

### (2) 6月末の死亡事故（死者49人）

- 事故類型別：
  - ・ 車両単独が18人36.7%（うち操作不適が9人50.0%、前方不注意が6人33.3%）
  - ・ 人対車両が13人26.5%（うち前方不注意が5人38.5%、歩行者妨害が3人23.1%）
- 道路別：
  - ・ 国道が16人32.7%（うち正面衝突、車両単独が各々5人31.3%）
  - ・ 市町村道が14人28.6%（うち人対車両が5人35.7%、出会い頭、車両単独が各々3人21.4%）
  - ・ 道道が11人22.4%（うち人対車両が4人36.4%、正面衝突、車両単独が3人27.3%）
- 地形・道路形状別：
  - ・ 市街地交差点が13人26.5%（うち人対車両が7人53.8%、出会い頭が2人15.4%）
  - ・ 市街地直線が12人24.5%（うち車両単独が4人33.3%、人対車両が3人25.0%）
  - ・ 非市街地直線が12人24.5%（うち車両単独が6人50.0%、正面衝突が5人41.7%）
- 発生時間別：
  - ・ 16～18時が9人18.4%（うち車両単独が3人33.3%、人対車両、正面衝突が各々2人22.2%）
  - ・ 4～6時が7人14.3%（うち人対車両が4人57.1%、車両単独が2人28.6%）
  - ・ 8～10時が7人14.3%（うち正面衝突が3人42.9%、出会い頭が2人28.6%）
- 第一当事者年齢別（第一当事者原付以上）：
  - ・ 高齢運転者による死者が16人32.7%（うち車両単独9人56.3%、正面衝突が3人18.8%）
  - ・ 40歳代運転者による死者が9人18.4%（うち人対車両が4人44.4%、車両単独が3人33.3%）
  - ・ 50歳代運転者による死者が9人18.4%（うち正面衝突が3人33.3%、人対車両、車両単独が各々2人22.2%）
- 第一当事者違反別（第一当事者原付以上）：
  - ・ 前方不注意が16人32.7%（うち車両単独が6人37.5%、人対車両が5人31.3%）
  - ・ 操作不適が13人26.5%（車両単独が9人69.2%、正面衝突が3人23.1%）
- 死者年齢別：
  - ・ 高齢者の死者が25人51.0%（うち車両単独が10人40.0%、人対車両が7人28.0%）
  - ・ 50歳代の死者が7人14.3%（うち正面衝突、車両単独が各々2人28.6%）
- シートベルト非着用者：
 

自動車（二輪を除く）乗車中の死者30人中、シートベルト非着用者は14人(46.7%)であり、そのうち9人(64.3%)はシートベルトをしていれば助かった可能性が高い。

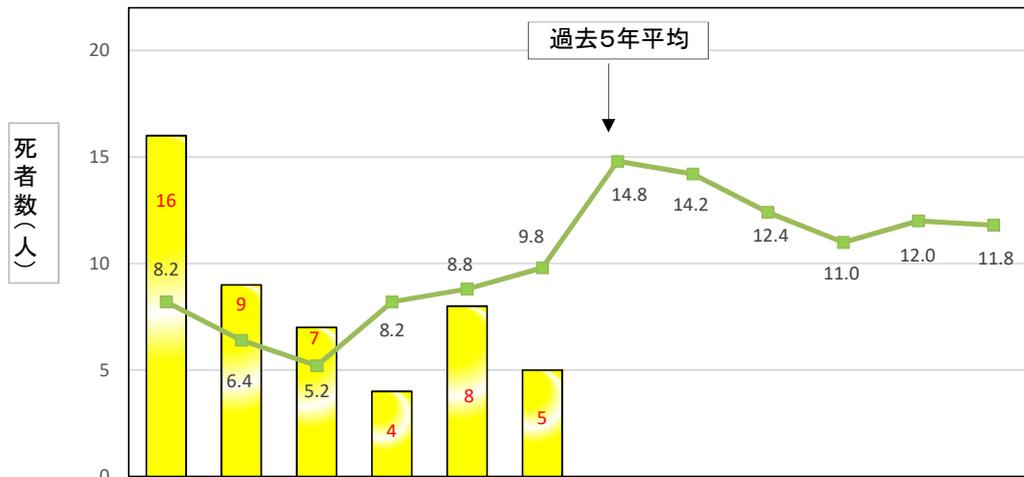
(3) 方面別発生状況

6月中の死者数は札幌方面、北見方面が各々2人(40.0%)、釧路方面が1人(20.0%)となっている。  
 6月末の死者数は札幌方面が24人(49.0%)、釧路方面が11人(22.4%)、旭川方面が5人(10.2%)、北見方面が6人(12.2%)、函館方面が3人(6.1%)となっている。

方面別\区分	発生件数	死者数		傷者数			
		前年比	前年比	前年比	前年比		
全道	569	-31	5	-6	637	-47	
6月中	札幌方面	412	9	2	-4	460	14
函館方面	42	-1			48	-14	
旭川方面	42	-18			46	-20	
釧路方面	55	-25	1	-4	62	-29	
北見方面	18	4	2	2	21	2	
6月末	全道	3,804	-430	49	8	4,394	-636
札幌方面	2,785	-365	24	3	3,205	-568	
函館方面	249	-2	3		307	15	
旭川方面	361	4	5	-1	418	-15	
釧路方面	307	-76	11	4	346	-77	
北見方面	102	9	6	2	118	9	

(4) 月別発生状況の推移

6月中の死者数は5人で過去5年平均9.8人を下回ってる。  
 6月末の死者数は49人で過去5年平均46.6人を上回ってる。



区分\月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
令和7年	16	9	7	4	8	5							49
年間累計	16	25	32	36	44	49							
過去5年平均	8.2	6.4	5.2	8.2	8.8	9.8	14.8	14.2	12.4	11.0	12.0	11.8	122.8
累計平均	8.2	14.6	19.8	28.0	36.8	46.6	61.4	75.6	88.0	99.0	111.0	122.8	

(5) 都道府県別死者数

6月中は東京都が14人で最も多く、次いで千葉県が10人、大阪府、兵庫県、新潟県が各々8人で3位、北海道は5人で12位となっている。

6月末は東京都が68人で最も多く、次いで神奈川県が63人、大阪府が58人、千葉県が57人、埼玉県が56人、北海道は49人で7位となっている。

区分\都道府県	東京	千葉	大阪	兵庫	新潟	埼玉	愛知	福岡	愛媛	京都	全国	北海道
6月中死者数	14	10	8	8	8	7	6	6	6	6	179	5
ワースト順位	1	2	3	3	3	6	7	7	7	7	-	12
前年比	5	-2	0	-2	5	1	-3	-5	3	1	-19	-6
増減率(%)	55.6	-16.7	0.0	-20.0	166.7	16.7	-33.3	-45.5	100.0	20.0	-9.6	-54.5

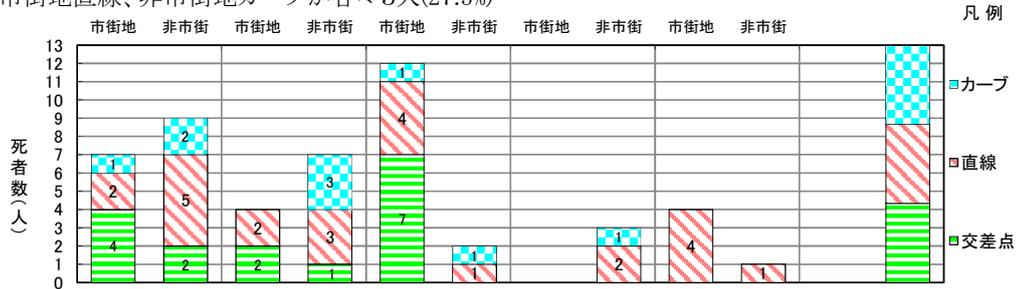
区分\都道府県	東京	神奈川	大阪	千葉	埼玉	愛知	北海道	兵庫	茨城	福岡	全国
6月末死者数	68	63	58	57	56	50	49	42	42	41	1,161
ワースト順位	1	2	3	4	5	6	7	8	8	10	-
前年比	-1	12	4	-15	12	-15	8	-12	-2	-6	-21
増減率(%)	-1.4	23.5	7.4	-20.8	27.3	-23.1	19.5	-22.2	-4.5	-12.8	-1.8

### 3 死亡事故の特徴

#### (1) 道路別

国道が16人(32.7%)、市町村道が14人(28.6%)、道道が11人(22.4%)となっている。

- ・ 国道は、非市街地直線が5人(31.3%)、市街地交差点が4人(25.0%)
- ・ 市町村道は、市街地交差点が7人(50.0%)、非市街地直線が4人(28.6%)
- ・ 道道は、非市街地直線、非市街地カーブが各々3人(27.3%)

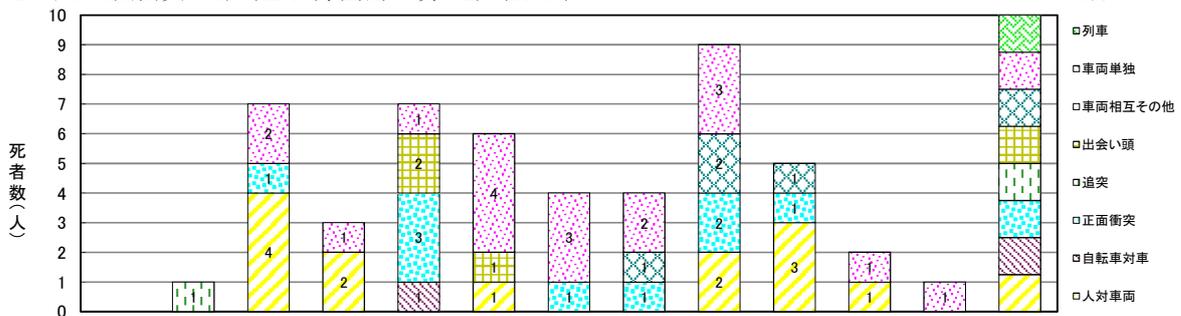


区分\道路別	国道	道道	市町村道	高速道路	その他の道路	計
死者数	16	11	14	3	5	49
構成率(%)	32.7	22.4	28.6	6.1	10.2	100.0
過去5年構成率	39.9	21.0	30.9	2.6	5.6	100.0

#### (2) 時間別

16～18時が9人(18.4%)、4～6時、8～10時が各々7人(14.3%)となっている。

- ・ 16～18時は車両単独が3人(33.3%)、人対車両、正面衝突が各々2人(22.2%)
- ・ 4～6時は人対車両が4人(57.1%)、車両単独が2人(28.6%)
- ・ 8～10時は正面衝突が3人(42.9%)、出会い頭が2人(28.6%)

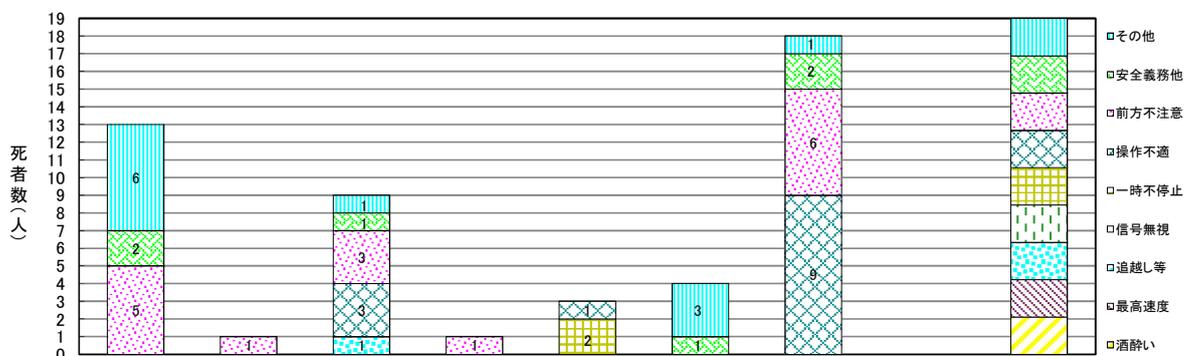


区分\時間別	0～2	2～4	4～6	6～8	8～10	10～12	12～14	14～16	16～18	18～20	20～22	22～24	計
死者数	1	1	7	3	7	6	4	4	9	5	2	1	49
構成率(%)	2.0	2.0	14.3	6.1	14.3	12.2	8.2	8.2	18.4	10.2	4.1	2.0	100.0
過去5年構成率	3.4	2.6	3.0	6.9	10.7	15.0	15.0	15.0	7.3	8.2	8.6	4.3	100.0

#### (3) 事故類型別

車両単独が18人(36.7%)、人対車両が13人(26.5%)となっている。

- ・ 車両単独は、操作不適が9人(50.0%)、前方不注意が6人(33.3%)
- ・ 人対車両は、前方不注意が5人(38.5%)、その他(歩行者妨害が含まれる)が6人(46.2%)



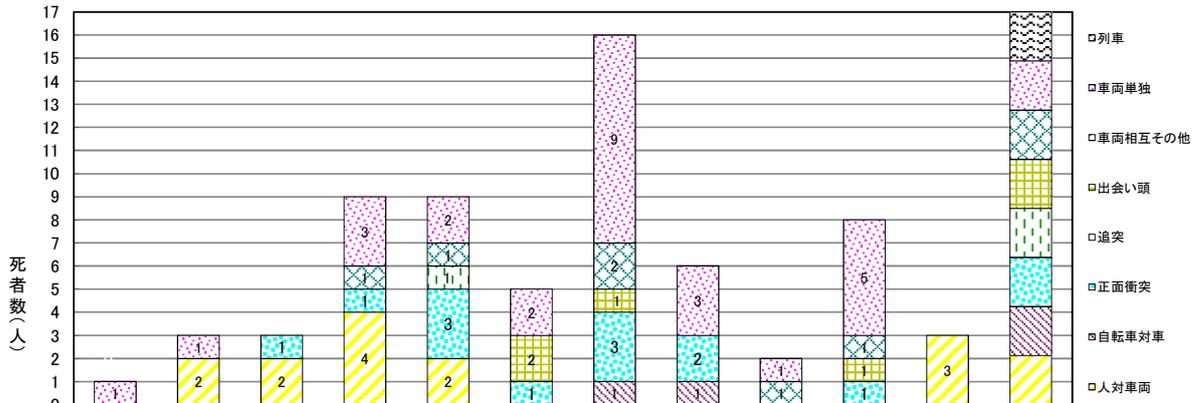
区分\類型別	人対車両	自転車対車	車両相互				車両単独	列車	計
			正面衝突	追突	出会い頭	その他			
死者数	13	1	9	1	3	4	18	49	
構成率(%)	26.5	2.0	18.4	2.0	6.1	8.2	36.7	100.0	
過去5年構成率	28.8	6.4	21.5	0.9	9.0	3.9	29.2	100.0	

(4) 第一当事者の年齢層別

高齢運転者が16人(32.7%)、40歳代、50歳代の運転者が各々9人(18.4%)となっている。

- ・ 高齢運転者は、車両単独が9人(56.3%)、正面衝突が3人(18.8%)
- ・ 40歳代の運転者は、人対車両が4人(44.4%)、車両単独が3人(33.3%)
- ・ 50歳代の運転者は、正面衝突が3人(33.3%)、人対車両、車両単独が各々2人(22.2%)

凡例



区分\年齢別	25歳未満	25~29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60~64歳	高齢者	65~69歳	70~74歳	75歳以上	歩行者等・不明	計
死者数	1	3	3	9	9	5	16	6	2	8	3	49
構成率(%)	2.0	6.1	6.1	18.4	18.4	10.2	32.7	12.2	4.1	16.3	6.1	100.0
過去5年構成率	6.4	3.4	6.4	18.5	12.4	9.9	37.3	12.0	8.6	16.7	5.6	100.0

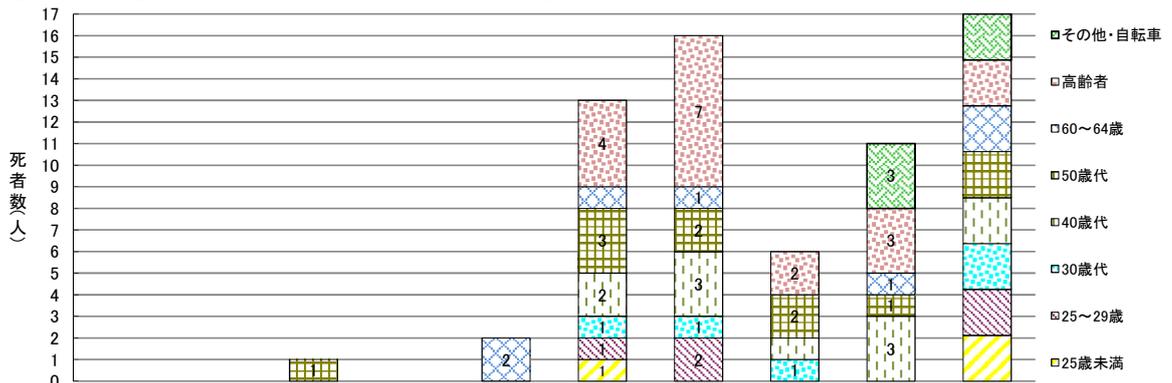
構成率は全死者に対する割合

(5) 第一当事者の違反(原因)別

前方不注意によるものが16人(32.7%)、次いで操作不適によるものが13人(26.5%)となっている。

- ・ 前方不注意は、高齢運転者による死者が7人(43.8%)、40歳代運転者による死者が3人(18.8%)
- ・ 操作不適は、高齢運転者による死者が4人(30.8%)、50歳代運転者による死者が3人(23.1%)

凡例



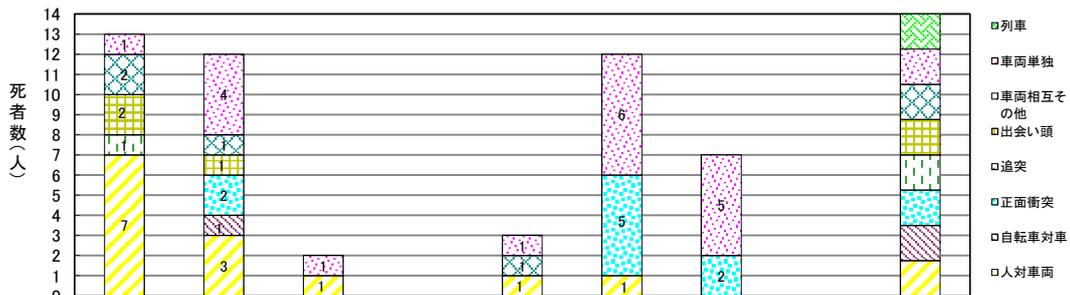
区分\原因別	酒酔い	最高速度	追越し等	信号無視	一時不停止	安全運転義務違反			その他	計
						操作不適	前方不注意	その他		
死者数			1		2	13	16	6	11	49
構成率(%)			2.0		4.1	26.5	32.7	12.2	22.4	100.0
過去5年構成率	1.7	10.7	2.1	4.7	3.9	11.2	31.8	12.0	21.9	100.0

(6) 地形・道路形状別

市街地交差点が13人(26.5%)、市街地直線、非市街地直線が各々12人(24.5%)となっている。

- ・ 市街地交差点は、人対車両が7人(53.8%)、出会い頭が2人(15.4%)
- ・ 市街地直線は、車両単独が4人(33.3%)、人対車両が3人(25.0%)
- ・ 非市街地直線は、車両単独が6人(50.0%)、正面衝突が5人(41.7%)

凡例



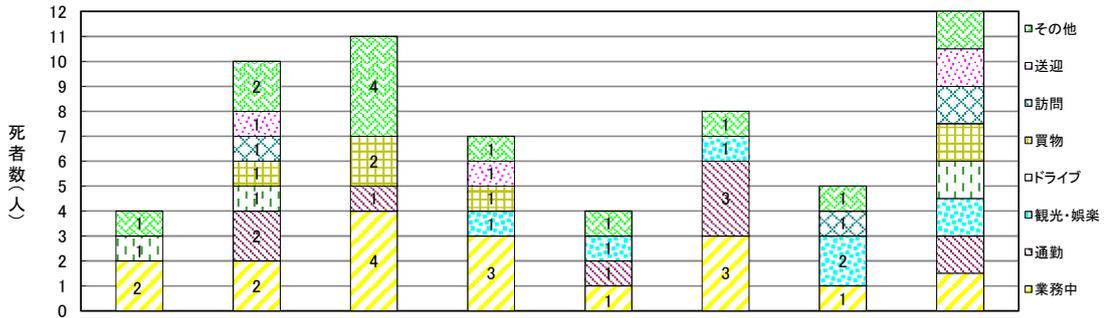
地形道路形状別 区分\	市街地				非市街地				計
	交差点	直線	カーブ	小計	交差点	直線	カーブ	小計	
死者数	13	12	2	27	3	12	7	22	49
構成率(%)	26.5	24.5	4.1	55.1	6.1	24.5	14.3	44.9	100.0
過去5年構成率	31.8	16.3	3.9	51.9	5.2	24.9	18.0	48.1	100.0

(7) 曜日別

火曜日が11人(22.4%)、月曜日が10人(20.4%)となっている。

- ・火曜日は、業務中が4人(36.4%)、買物が2人(18.2%)
- ・月曜日は、業務中、通勤が各々2人(20.0%)

凡例



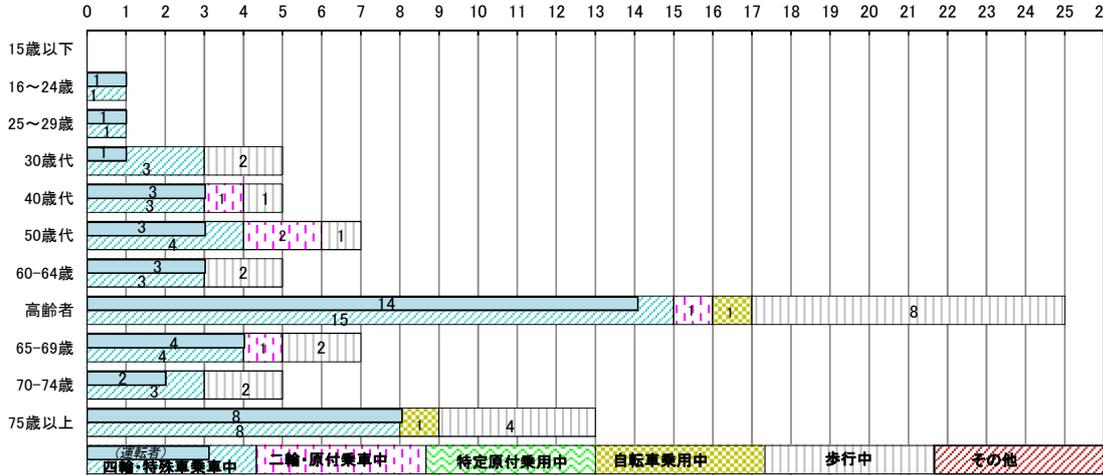
区分\曜日別	日	月	火	水	木	金	土	計
死者数	4	10	11	7	4	8	5	49
構成率(%)	8.2	20.4	22.4	14.3	8.2	16.3	10.2	100.0
過去5年構成率	18.9	9.9	14.2	12.4	14.2	16.3	14.2	100.0

(8) 状態別・年齢層別

年齢層別死者数では、高齢者の死者数が25人(51.0%)、次いで50歳代の死者が7人(14.3%)となっている。

四輪乗車中の死者数が30人(61.2%)、次いで歩行中の死者数が14人(28.6%)となっている。

死者数(人)



状態別 年齢層別\	死者数	四輪乗車中 (特殊車を含む)	二輪乗車中 (一般原付を含む)	特定原付乗車中	自転車乗車中	歩行中	その他	計	構成率	5年構成率
		15歳以下	1	0	0	0	0			
16~24歳	1	1	0	0	0	0	0	1	2.0	2.6
25~29歳	1	1	0	0	0	0	0	1	2.0	2.1
30歳代	5	3	0	0	0	2	0	5	10.2	5.6
40歳代	5	3	1	0	0	1	0	5	10.2	9.4
50歳代	7	3	2	0	0	1	0	7	14.3	13.3
60~64歳	5	3	0	0	0	2	0	5	10.2	9.0
高齢者	25	15	1	0	1	8	0	25	51.0	55.4
65~69歳	7	4	1	0	0	2	0	7	14.3	10.3
70~74歳	5	3	0	0	0	2	0	5	10.2	11.2
75歳以上	13	8	0	0	1	4	0	13	26.5	33.9
計	49	30	4	0	1	14	0	49	100.0	
		61.2	8.2	0	2.0	28.6	0	100.0		
		52.4	9.9	0	8.2	28.8	0.9	100.0		

注 高齢者の内訳の構成率は全死者に対する割合。

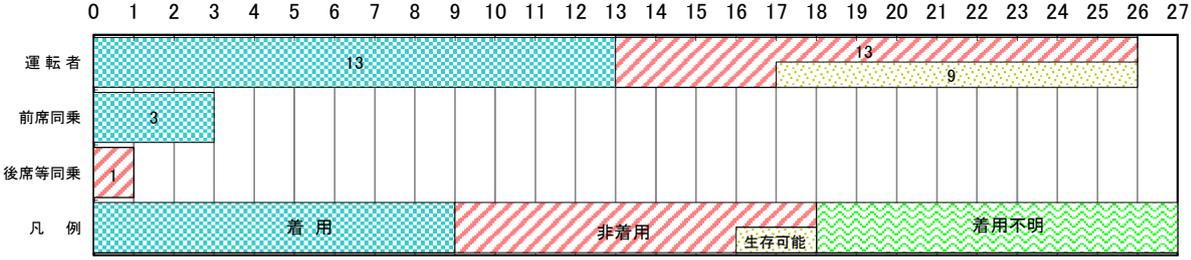
(9) シートベルト着用状況別

ア 乗車区分別

四輪乗車中の死者30人中、シートベルト非着用者は14人(46.7%)となっている。

非着用者の14人のうち9人(64.3%)は、車両の破損状況等から見て、シートベルトを着用していれば生存していた可能性が高い。

死者数(人)



区分	四輪乗車中	着用			非着用			着用不明
		計	運転者	同乗者(助手席/後部席)	計	運転者(生存可能)	同乗者(助手席/後部席)(生存可能)	
令和7年	30	16	13	3	14	9	1	
構成率(%)	100.0	53.3	81.3	18.8	46.7	69.2	7.1	

イ 年齢層別

シートベルト非着用者を年齢層別にみると、高齢者が8人(57.1%)となっている。

区分\年齢別	25歳未満	25~29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60~64歳	高齢者	65~69歳	70~74歳	75歳以上	その他・不明	計
シートベルト着用		1	2	2	3	1	7	2	3	2		16
構成率(%)		6.3	12.5	12.5	18.8	6.3	43.8	12.5	18.8	12.5		100.0
シートベルト非着用	1		1	1	1	2	8	2		6		14
構成率(%)	7.1		7.1	7.1	7.1	14.3	57.1	14.3		42.9		100.0

注 構成率は区分別の合計数に対する割合。  
高齢者の内訳の構成率は合計数に対する割合。

ウ 損傷加害部位別

シートベルト非着用者14人の損傷加害部位をみるとドア・窓4人(28.6%)、車外放出、ハンドル、座席が各々2人(14.3%)となっている。

区分\部位別	車外放出	車外他	ハンドル	Fガラス	計器盤	ドア・窓	柱	天井	座席	室内他	シートベルト	他・不明	計
シートベルト着用			4	2	1				4	1	3	1	16
構成率(%)			25.0	12.5	6.3				25.0	6.3	18.8	6.3	100.0
シートベルト非着用	2	1	2			4		1	2			2	14
構成率(%)	14.3	7.1	14.3			28.6		7.1	14.3			14.3	100.0
運転者	2	1	2			3		1	2			2	13
構成率(%)	14.3	7.1	14.3			21.4		7.1	14.3			14.3	92.9
同乗者						1							1
構成率(%)						7.1							7.1

注 構成率は区分別の合計数に対する割合。  
但し、ベルト非着用の運転同乗者別の構成率は、ベルト非着用の合計数に対する割合。